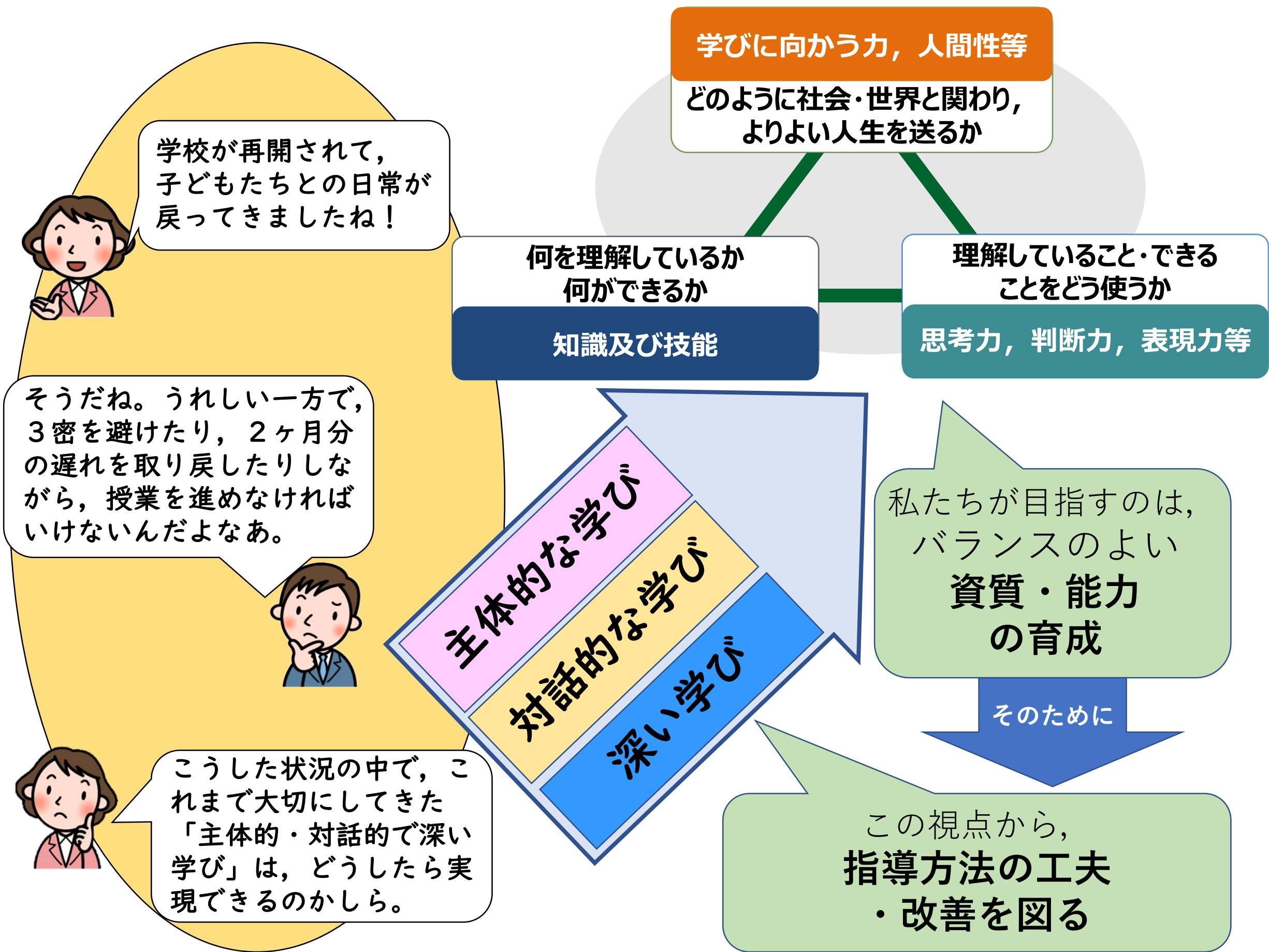


共に歩まん

3密(密閉・密集・密接)
を避けながら

授業の遅れを
取り戻しながら

「主体的・対話的で深い学び」へ向かうには



こうした予測が困難な状況だからこそ、「自ら学び、自ら考え、判断して行動」できる子どもたちを育てる観点から、上記のような資質・能力の育成や、「主体的・対話的で深い学び」の視点が大切になってくると感じています。今号から数号にわたり、各教科において、こうした状況下、どのようにして「主体的・対話的で深い学び」へ向かうのか、先生方と共に考えていけたらと思います。

3密を避け，授業の遅れを取り戻しながら 「主体的・対話的で深い学び」へ向かう工夫

社会科

学年ごとの工夫を考えてみました！

小学3年

【見学の位置付け】

○「まちたんけん」の実施可能であれば実施。難しい場合は市町村の副教材を用いて，子どもたちの生活経験と結びつけながら授業する。



小学4年

【多様な学び方の工夫】

○県名の学習

プリント，インターネットのゲーム，友達とクイズを出し合って，など，繰り返しふれることで定着を図る。



小学5年

【動画の活用】

○農業：米作りの学習

農家への見学や聞き取りが時間的に難しい場合は，NHK for schoolなどの動画を用いることも考えられる。



小学6年

【学びを確かめる時間】

○歴史クイズ（小テスト）

毎時間の最初5分に行い，児童自身が自身の学びの定着を確かめながら学びを進められるようにする。



中学1年

【学習問題を大切に】

○地理：ヨーロッパ州

単元の学習問題を立てて追究。例「なぜヨーロッパは言語も文化も違うのにEUを設立できたのか」など。



中学2年

【考察の仕方を大切に】

○地理：中国・四国地方

「交通」の考察の仕方を元に，本四連絡橋ができて，中国・四国地方はどう変わったかをまとめていく。



中学3年

【比較で学習を関連付け・かつコンパクトに】

○歴史：第一次・第二次世界大戦

「なぜ世界は戦争へと突き進んだのだろう」の学習問題のもと，2つの戦争を比較しながら調べ，まとめていく。



1時間の中の工夫

【対話の方法の工夫】

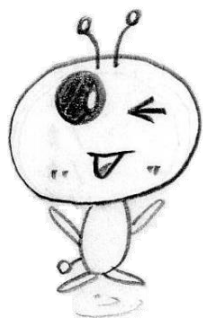
言葉を発する対話が難しい状況なので，お互いの学習カードを見合うことで「対話」を。



家庭学習

【家庭学習と学校で学ぶことのすみわけ】

調べ学習や穴埋めプリントは家庭学習で。学校で共同追究。



学年ごとの工夫が書かれているけれど，どの工夫も，小学校でも，中学校でも，どの学年でも生かせそうだね。参考にしなね！

3密を避け，授業の遅れを取り戻しながら 「主体的・対話的で深い学び」へ向かう工夫

算数・数学

単元の見通しをもとう

～ 4年生「1けたでわるわり算の筆算」を例に～

総合教育センターのホームページに年間指導計画の修正例が全学年分掲載されています。単元の最初に，単元の流れを提示することで，子どもが授業と家庭学習をどのようにつなげたらよいかの見通しをもつことができるようになります。

3 1けたでわるわり算の筆算 10時間 → 7時間							
時期	小単元	ページ	目 標	学習内容	指導時	調整時	ポイント
6 月中旬・6 月下旬	(課題設定)	38			1	1	
	①(2けた)÷(1けた)の筆算	39	○(2位数)÷(1位数)の立式をして，具体物を使ってその計算の仕方を考える。 ○わり算の筆算の仕方を考えていくという単元の課題をつかむ。	・色紙72枚を3人で分けるときの1人の枚数の求め方の考察 ・(2位数)÷(1位数)の筆算の学習の動機づけ《商》			
		40～41	○具体物を使った計算の仕方をもとに，(2位数)÷(1位数)の筆算の仕方を考える。	・72÷3のような(2位数)÷(1位数)の筆算	2	2	
		42	○余りのある(2位数)÷(1位数)を筆算で計算することができる。	・(2位数)÷(1位数)で余りのある筆算，答えの確かめ(わる数×商+余り=わられる数)	3	3	
		43	○(2位数)÷(1位数)で，位ごとにわり切れる場合や一の位の商に0が立つ場合の筆算の仕方を理解することができる。	・(2位数)÷(1位数)で十の位がわり切れる場合や一の位の商に0が立つ筆算	4	4	
	●練習	44	○学習内容を確実に身につける。	・練習	5		①
	②(3けた)÷(1けた)の筆算	45	○既習の筆算の仕方をもとに，(3位数)÷(1位数)の筆算の仕方を考えることができる。	・(3位数)÷(1位数)で商が3桁になる筆算	6	家庭学習	
		46～47	○(3位数)÷(1位数)で，商に空位がある場合の筆算の仕方を理解することができる。	・(3位数)÷(1位数)で商に0がたつ場合や商が2桁になる場合の筆算	7	5	③(3位数)÷(1位数)の筆算の仕方を授業の最初に全体で確認をする。③
	●練習	48	○学習内容を確実に身につける。	・練習	8		①
	③暗算	49	○簡単な(2位数)÷(1位数)を暗算で計算することができる。	・(2位数)÷(1位数)で商が2桁になる暗算	9	6	
学びのまとめ	50～51	○学習内容の理解を確認する。	・評価とふりかえり ・コラム「外国のわり算の筆算のしかた」	10	7	②	

ポイント①は練習を家庭学習でやるところだから，(3けた)÷(1けた)に入る前に(2けた)÷(1けた)を確実にできるように練習しよう。



ポイント②はp50～51を家庭学習でやっておいて，授業ではグループで分からない問題を確認するところだから，説明できるようにしておこう。



ここでは，総合教育センターに掲載されている単元の例をそのまま使っていますが，簡単な年間指導計画にしたり，小テストをどこで行うかなどの，評価の計画を入れたりすることも考えられます。



子どもたち自身が単元の見通しをもつ中で，単元のゴールイメージをもつことができれば，自律的な学びにもつながっていきそうだね。



各種研修レポート

初任者研修 ～模擬授業DVD視聴を通して～

5月の初任者研修「授業力向上研修Ⅰ」では、実際の授業を見ることが難しい状況であったため、中信教育事務所作成の模擬授業DVDを視聴し、意見交換をする研修としました。ご都合がつく学校では、初任者だけでなく、同じ学校の先生方にも初任者と一緒に視聴していただき、意見交換をお願いしました。感想をいくつか紹介します。



模擬授業DVD

初任者の先生方の振り返り

今回の研修で、見る観点を整理して教えていただき、同じ初任者の率直な意見を聞け、校内のベテランの先生方のアドバイスをいただいたことで、今後どのように授業研究会に参加すべきかが分かってきました。



校内の先生方の授業を見たり、話を聞いたりすることがとても重要で大切なことだと改めて感じました。校内には豊富な経験をしてこられた先生方がたくさんいらっしゃるので、授業参観や授業研究会の機会を含めて、先生方と関わっていく中で学んでいきたいです。

まず、「課題のある授業」を視聴し、気付いたことを書き留めました。メンターチームで意見を出し合った際に、自分の気付かなかった点や、さらに深い視点からの意見が先輩方から出され、自分の未熟さを感じました。改善された授業を視聴してからの意見交換では、自分の視点が少し深まり、また、多角的になったことが実感できました。



校内の先生方にも参加していただき、自分の意見を聞いてもらって意見交換ができたり、ベテランの先生からお話をお聞きできたりと、今回のような研修でなければこれほど有意義な研修にはならなかったと感じました。研修が終わった後も初任者で授業内容についてしばらく意見交換をして、よりよい授業づくりを意識した研修を受けることができたと感じました。

指導教員等の先生方の声

2つの模擬授業を比べることで、とても分かりやすく、意見も出しやすかった。自分自身も勉強になりました。



初任者と指導者だけでなく、様々なキャリアの職員で意見交換できたので「様々な眼」があり、自分自身も勉強になりました。

校内の職員と一緒に話をすることで、初任の先生方が自分の考えを深めたり、新たに学ぶことができたようでした。校内の職員にとっても、日頃の授業を見直す機会になり、また初任者がどのような学びをしているかを知ることができました。

研修会に同学年の4人が参加し、初任者のお話をまず聞き、同僚の先生方から授業づくりについて様々な考えや手立てを出していただき、見聞を広めることができました。同学年の4人の教諭にもとてもよい研修となりました。



初任者の先生方と、先輩の先生方が学び合う、よい機会になったんですね。まさに、OJTですね！

初任者在籍校の先生方、DVDでの初任者研修へのご協力、ありがとうございます。